

第5次香芝市総合計画中期基本計画 基本計画レイアウト新旧対照表
(見開き左側)

旧レイアウト	新レイアウト案																												
政策Ⅰ 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 施策Ⅰ 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援 現状と課題 ○妊婦一般健康診査の補助や支援プランの作成、保健師や助産師等による妊産婦や乳幼児訪問など、母子の健康管理の充実を図っています。また、子育て家庭の不安を和らげるため、令和元年度(2019年度)に「子育て世代包括支援センター」を設置し、各家庭の状況に応じた事業の利用支援や相談支援に取り組んでいます。これに加え、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育て家庭の孤立感、負担感の増大が課題となっていることから、同センターを中心として、地域ぐるみで子育てしていく環境となるような体制づくりの強化が今後の重要なカギとなります。 ○産後うつ、育児不安、育児放棄、虐待等の問題を抱える家庭に対しては、今後さらなる対策を講じていく必要があります。早期に発見し、早い段階から支援を行っていくことができるよう、各種関係機関との連携強化を図る必要があります。また妊産婦本人だけではなく、パートナーや家族の理解と協力、住環境、職場環境など、妊産婦を取り巻く環境の改善も求められます。 ○結婚年齢、出産年齢の上昇や医療技術の進歩にともない、不妊治療を受ける夫婦は増加しており、不妊症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要です。 ★ 目指す姿 いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。 SDGs 該当分野 <table><thead><tr><th>目標</th><th>目標達成に向けた取り組み</th></tr></thead><tbody><tr><td> すべての人に健康と福祉を</td><td>妊娠期から、相談支援、健診への補助、各種教室開催等の支援を行うことで、妊産婦・新生児・乳幼児の健康的な生活に寄与する。</td></tr><tr><td> 住み続けられるまちづくりを</td><td>家庭訪問により子育ての孤立化予防や不安を軽減することで、住み続けられるまちづくりに寄与する。</td></tr><tr><td> 平和と公正をすべての人に</td><td>新生児及び乳幼児の家庭への訪問・健診等を行うことで、子どもに対する虐待や暴力の予防や早期発見に寄与する。</td></tr></tbody></table> 👤 生活の中でみんなができること <table><tbody><tr><td>市民ができること</td><td>・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。</td></tr><tr><td>地域団体ができること</td><td>・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。</td></tr><tr><td>事業者ができること</td><td>・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。</td></tr></tbody></table>	目標	目標達成に向けた取り組み	 すべての人に健康と福祉を	妊娠期から、相談支援、健診への補助、各種教室開催等の支援を行うことで、妊産婦・新生児・乳幼児の健康的な生活に寄与する。	 住み続けられるまちづくりを	家庭訪問により子育ての孤立化予防や不安を軽減することで、住み続けられるまちづくりに寄与する。	 平和と公正をすべての人に	新生児及び乳幼児の家庭への訪問・健診等を行うことで、子どもに対する虐待や暴力の予防や早期発見に寄与する。	市民ができること	・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。	地域団体ができること	・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。	事業者ができること	・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。	政策タイトルは見出しページを作成するため基本計画の見開きには掲載しない 施策Ⅰ 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援 SDGs 該当分野    ★ 私たちのまちの目指す姿 いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。 達成すべき成果 (例) 香芝市でのびのびと子育てしている人の割合 <table><thead><tr><th>現状値</th><th>目指す方向性</th></tr></thead><tbody><tr><td>●●%</td><td>↑</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> 🔍 私たちのまちの現状と課題 ○妊婦一般健康診査の補助や支援プランの作成、保健師や助産師等による妊産婦や乳幼児訪問など、母子の健康管理の充実を図っています。また、子育て家庭の不安を和らげるため、令和元年度(2019年度)に「子育て世代包括支援センター」を設置し、各家庭の状況に応じた事業の利用支援や相談支援に取り組んでいます。これに加え、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育て家庭の孤立感、負担感の増大が課題となっていることから、同センターを中心として、地域ぐるみで子育てしていく環境となるような体制づくりの強化が今後の重要なカギとなります。 ○産後うつ、育児不安、育児放棄、虐待等の問題を抱える家庭に対しては、今後さらなる対策を講じていく必要があります。早期に発見し、早い段階から支援を行っていくことができるよう、各種関係機関との連携強化を図る必要があります。また妊産婦本人だけではなく、パートナーや家族の理解と協力、住環境、職場環境など、妊産婦を取り巻く環境の改善も求められます。 ○結婚年齢、出産年齢の上昇や医療技術の進歩にともない、不妊治療を受ける夫婦は増加しており、不妊症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要です。 👤 生活の中でみんなが取り組むべきこと <table><tbody><tr><td>市民ができること</td><td>・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。</td></tr><tr><td>地域団体ができること</td><td>・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。</td></tr><tr><td>事業者ができること</td><td>・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。</td></tr></tbody></table>	現状値	目指す方向性	●●%	↑					市民ができること	・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。	地域団体ができること	・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。	事業者ができること	・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。
目標	目標達成に向けた取り組み																												
 すべての人に健康と福祉を	妊娠期から、相談支援、健診への補助、各種教室開催等の支援を行うことで、妊産婦・新生児・乳幼児の健康的な生活に寄与する。																												
 住み続けられるまちづくりを	家庭訪問により子育ての孤立化予防や不安を軽減することで、住み続けられるまちづくりに寄与する。																												
 平和と公正をすべての人に	新生児及び乳幼児の家庭への訪問・健診等を行うことで、子どもに対する虐待や暴力の予防や早期発見に寄与する。																												
市民ができること	・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。																												
地域団体ができること	・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。																												
事業者ができること	・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。																												
現状値	目指す方向性																												
●●%	↑																												
市民ができること	・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。																												
地域団体ができること	・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。																												
事業者ができること	・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。																												

SDGsは、現行の「目標達成に向けた取り組み」が次頁の「主な取り組み」とほぼ一致するため割愛し、該当する分野のアイコンを掲載とする。

市民が主体的に考えられる計画となるよう、「私たちのまちの」目指す姿に変更。

目指す姿に対して、達成すべき成果(成果指標)と目指す方向性を設定。

市民が主体的に考えられる計画となるよう、「私たちのまちの」現状と課題に変更。

生活の中でみんなが「できること」から「取り組むべきこと」に変更し、市民が行政と一緒にまちづくりを行う姿勢を強調

「市民ができること」は、実際の市民の声として市民アンケート調査結果を取り入れる

第5次香芝市総合計画中期基本計画 基本計画レイアウト新旧対照表
(見開き左側)

旧レイアウト

■ 施策の主な取り組み

①妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

■実施する主な事業

妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。
------------	---

②乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

■実施する主な事業

乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達を確認を行います。
乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯びか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。
こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。

■関連する主な施策

- 施策2 子育て支援の充実 ①子育て家庭への支援/②児童虐待防止の推進
- 施策5 家庭・地域・学校の連携 ①地域ぐるみの子どもの支援
- 施策7 医療提供体制の充実 ①地域医療体制の充実/②感染症対策の推進
- 施策12 人権・多様性の尊重 ①人権啓発の推進と学習機会の提供/②男女共同参画によるまちづくりの推進

■関連部門計画

- 第2期香芝市子ども・子育て支援事業計画

前頁の成果指標と区別するため、指標名を「活動指標名」に変更

新レイアウト案

■ 施策の主な取り組み

(1)妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

■実施する主な事業と取り組み状況を把握する指標

① 妊娠出産包括支援事業		妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。				
活動指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R6)	目標値		
				R10	R14	
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	

(2)乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

■実施する主な事業と取り組み状況を把握する指標

① 乳幼児健診事業		乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達を確認を行います。				
活動指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R6)	目標値		
				R10	R14	
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.4	98.6	
② 乳幼児相談及び教室事業		乳幼児期に関する相談のほか、歯びか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。				
活動指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R6)	目標値		
				R10	R14	
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.4	98.6	
③ こんにちは赤ちゃん事業		生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。				
活動指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R6)	目標値		
				R10	R14	
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	

■関連する主な施策

- 施策2 子育て支援の充実 ①子育て家庭への支援/②児童虐待防止の推進
- 施策5 家庭・地域・学校の連携 ①地域ぐるみの子どもの支援
- 施策7 医療提供体制の充実 ①地域医療体制の充実/②感染症対策の推進
- 施策12 人権・多様性の尊重 ①人権啓発の推進と学習機会の提供/②男女共同参画によるまちづくりの推進

■関連部門計画

- 第2期香芝市子ども・子育て支援事業計画

事業に対して指標を設定するので、「**主な事業**」・「**指標**」という並びに順番を入れ替え。

現状値(R6)ー最新値
目標値(R10)ー中期基本計画の終了年次
目標値(R14)ー基本構想の終了年次に更新

事業が複数ある場合は、**それぞれ事業に対応する指標**を設定

関連部門計画には、**部門計画の根拠法**を記載予定。